

5月7日

赤坂山

木元 隆司

|     |   |     |    |
|-----|---|-----|----|
| 山名  | 赤坂山   | 山行名 | 例会 |
| ルート | マキノ高原→ブナの木平→栗柄越→赤坂山→栗柄越→寒風→マキノ高原  |     |    |
| 山行日 | 2022年 5月 7日 (土)   | 天候  | 晴れ |
| 参加者 | リーダー：木元 (男性) サブリーダー：竹原 (絹) (女性) 蒲田<br>(男性) 竹原 (順) 佐々木 廣瀬 (女性) 蒲田<br>一般参加 吉川 塚 合計 8名 |     |    |

|  |         |         |         |         |
|--|---------|---------|---------|---------|
| ルート概略図   | コースタイム  |         |         |         |
|  | 地名      | 時:分     | 地名      | 時:分     |
| <pre> graph TD     A[マキノ高原温泉さらさ] --&gt; B[ブナの木平]     B --&gt; C[栗柄越]     C --&gt; D[赤坂山]     D --&gt; E[寒風]     E --&gt; C     C --&gt; A           </pre> | マキノ高原温泉 | 発 9:39  | 赤坂山     | 着 12:09 |
|  | 赤坂山     | 着 9:48  | 寒風      | 発 12:20 |
|  | 登山口     | 発 9:51  |         | 着 13:45 |
|  | ブナの木平   | 着 10:39 | マキノ高原温泉 | 発 14:10 |
|  |         | 発 10:51 |         | 着 15:47 |
|  | 栗柄越     | 着 11:59 |         |         |
|  |         | 発 12:02 |         |         |

市民春山登山の一般参加者2名も参加。京都駅に集合し、湖西線に乗る。登山姿の団体がいて満席。比良で降りられるのかなと思っていたが、その気配もなく、もしかしてマキノならバスに乗れないのではと心配になってくる。でも、2駅手前の近江今津で降りられてホッとする。マキノ駅からバスでマキノ高原へ。

マキノ高原から登山開始。登山口からいきなり急な長い階段が続く。身体が熱くなってくるが風が涼しい。陽光を浴びた新緑がまばゆい。山頂目の栗柄越で一般参加のYさんが疲労と足がすり始めたことより登頂を断念。昼食後、1名が付き添い、ピストンで下りる。他のメンバーは赤坂山登頂後、栗柄越から寒風へ心地よい稜線歩き。小さいアップダウンが続く。小ピークを越えたと思ったら、また新たな登りが現れるという繰り返し。先頭のTさんは、「これが最後の登りです」を繰り返し、すっかりオオカミ少年となっていた。寒風からは長い下り。バスが1時間に1本なので間に合うよう気にしながらの下山だったが、予定通り到着。Yさんも漢方薬68が効いたのか、次第に元気になり、しっかり歩かれたとのこと。よかった！

マキノ高原に下りると、何のイベントか1000cc以上であろうごっついバイクばかり何十台も集まっており、それなりの恰好のライダーさんも大勢いた。さらに、ブルンブルン、ドッドドッドと重低音を響かせて、いかついバイクが続々とやってくる。映画イージーライダーのようなバイクもある。やっぱりハーレーダビッドソンか？簡易ステージではバンドがロック系の歌と演奏。どうせならイージーライダーのテーマ曲 Born to Be Wild をやって欲しいところ。普段はショーウィンドウか車庫に飾っているのであろうようなすごいヤツばかり。いったい何なのだろう？いやいや、それはどうでもよくて、山行報告です。花の百名山だけあって、いくつもの花が咲き誇っています。残念ながらというか、申し訳ないのですが、私は花の名前に全く疎くて報告できません。どなたかの感想文に期待します。そんな私も今回の赤坂山でイワカガミだけはしっかり覚えました。多分、カタクリも大丈夫と思います。暖かくなって、ヘビも出てきます。Aさんがヘビと出くわして驚かれましたが、目撃者によるとヘビの方も飛び上がって逃げたとのこと。きっとヘビの方が数倍驚いたことでしょう。

天気恵まれ新緑の中の気持ちいい山歩きでした。約9.5Kmの歩行距離で少し疲れましたが、心地よい疲れです。参加のみなさん、お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。

ヒヤリハット：疲労と足攣りで途中下山1名。



赤坂山登山口



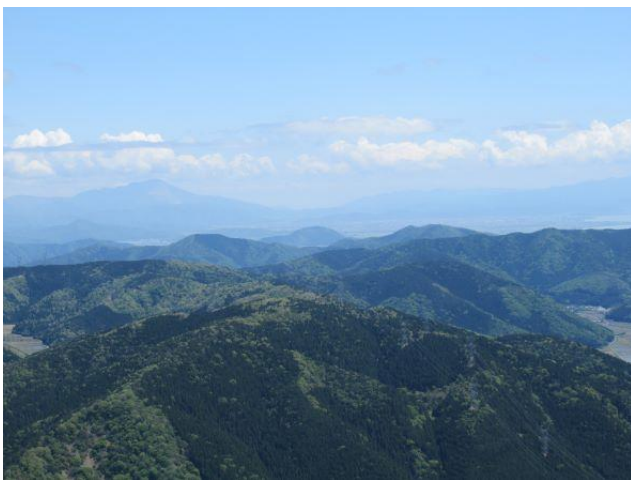
イワカガミ



もう一息で山頂です



赤坂山山頂



山頂から遠くに伊吹山が見えます



寒風へ向かう稜線歩き





マキノの街と田んぼ、そして琵琶湖  
メタセコイア並木も見えます



マキノ高原  
奥にたくさんのテントとバイク

## 感想文

### 花がいっぱい、山頂、稜線からの眺望も最高、贅沢な一日を過ごす

佐々木康治

近鉄、JR、湖国バスを利用して約3時間、登山口のマキノ・スキー場広場に到着。広大な芝生にはカラフルなテントがたち並び、多くのグループが暫しのアウトドア気分を満喫している。参加者は男5、女3と久しぶりの男性上位。好天のもと、最初の急な上り坂をいつもと同じく足取り重くゆっくりと登っていく。竹原（絹）サブは屈指のペースメーカー、喜寿の足にもピッタリ、快哉を叫びたくなる。赤坂山(824m)からの展望は秀逸、琵琶湖、伊吹、比良連峰、若狭湾、小さく白山・・・しばしウツトリ。栗柄越（あわがらごえ）でのランチの後寒風(854m)へ。赤坂よりも高く小ピークを10回も超えるとは想定外、愚痴のひとつもこぼしたくなる。もう5月というのに雪渓を目にし、「花の山」の名にふさわしく次々と花園が出現。「ワー！キレイ！」との歓声、イワカガミ、カタクリ、タニウツギ、イカリソウ、ミツバツツジ、スマレ、そしてブナの原生林・・・みんないたく満足。木元リーダーの企画・運営に感謝しながらHarley Davidsonの集まる山麓の広場を後にしました。

竹原絹栄

GWは登山に明け暮れました。最終日が赤坂山でした。

抜けるような青空と、登山道では花の百名山の通りイカガミヤスレ・カタクリなどに気持ちを癒されました。

12:10頃赤坂山頂上に到達。帰路は高島トレイルを寒風経由の下山。

寒風までの道のりは約1時間、大小合わせて10回のピークでしたが、登って来た道に戻るより景観は最高で、ずっと伊吹山を臨みながら楽しく麓の登山口に帰着。

最大の喜びは、会いたかったタウツギの群生でした。三部咲き位で満開になれば桜に負けず劣らずピンク色に染めてくれることでしょう。

CLさんありがとうございました。